

令和2年2定 一般質問 開催状況

開催年月日 令和2年(2020年)6月24日

質問者 日本共産党 真下 紀子 議員

担当部課 総合政策部政策局参事

質問要旨	答弁要旨
<p>一 知事の政治姿勢について (四) 専決処分報告について</p> <p>知事は、5月15日、約48億円の補正予算を議会に諮ることなく専決処分とし、本定例会に報告しました。ところが申請の受付を開始したのは29日であり、議会の開催日程は十分に確保できたとと言えます。知事は、記者会見ではとうとうと説明する一方、専決に続き、今定例会冒頭で300億円を超える先議を要請するなど、議会審議を回避していると言わざるを得ません。知事が専決処分を決定するに至った経過及び事業執行の状況を伺うとともに、専決・先議を乱発することなく議会審議を軽視する姿勢を改めることを強く求めますが、いかがですか。</p> <p>(再質問)</p> <p>専決処分について、知事は、議会との議論を大切にしたいと答えましたが、本当でしょうか。本当ですか。他党派の質問に、事前に各党派に説明をしたので専決判断をしたとの答弁に、私は驚きを禁じ得ませんでした。議会議論は省いたのではありませんか。私ども日本共産党道議団は、5月14日、直ちに予算を執行できるように議会を開会すべきと申し入れました。その際、道側の説明を聞く限り、今回限りの対応と受け止めましたが、議会ではそう答弁していません。だからこそ、この議事堂でどうどうと論戦し、道民が知るところとなる議会が重要なのです。改めて、知事の見解を求めます。</p>	<p>[知事]</p> <p>専決処分についてであります。道といたしましては、5月14日の国における緊急事態宣言の区域変更の内容を確認した上で、翌15日には、直ちに休業要請の延長とそれに伴う支援措置を決定する必要があったことから、極めて異例の対応ではあるが、専決処分という方法を探らせていただいたところであります。</p> <p>また、専決後、直ちに支払い事務に係る委託契約手続きに着手し、休業要請の延長に伴う新たな支援金に対応した電子申請システムの構築などの準備を経て、5月29日から受付を開始し、今月19日に1回目の支給を行ったところであります。</p> <p>私といたしましては、二元代表制の両輪である道議会の皆様とのご議論を大切にしながら、予算をはじめ、さまざまな行政課題に対応してまいりたいと考えております。</p> <p>[知事]</p> <p>専決処分についてであります。道といたしましては、5月14日に国から示された緊急事態宣言の区域変更の内容を確認した上で、翌15日には、休業要請の延長と、それに伴う支援措置を決定し、事業者の皆様にお知らせする必要があったことから、専決処分という方法を探らせていただいたところであります。</p> <p>今回の専決処分は、こうした状況の中での極めて異例な対応と考えており、私といたしましては、道民の代表である道議会の皆様のご意見をお聞きし、ご議論をいただきながら、今後の道政運営に臨んでまいりたいと考えております。</p>